

都市再生整備計画 事後評価シート
新港横戸町線沿道地区

平成27年3月

千葉県千葉市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	千葉市		地区名	新港横戸町線沿道地区			面積	170.7		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	823.1	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(新港横戸町線、幕張町弁天町線、国道126号、幸町801号線、黒砂台802号線)、公園(幸町緑地、黒砂台二丁目公園、黒砂H緑地、黒砂台J緑地、黒砂台K緑地、黒砂台L緑地、黒砂台M緑地、黒砂台N緑地)、地域生活基盤施設(黒砂台運動広場、新港横戸町線(ポケットパーク))									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(新港横戸町線沿道関連整備)、事業活用調査(事業効果検討)、まちづくり活動推進事業(道づくり協議会等運営事業)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(黒砂台801号線、穴川41号線)			事業の廃止			影響なし			
			提案事業	-			-			-			
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行空間に関する満足度	%	31.0	H21	50.0	H26	-	69.0		あり なし	道路整備や電線類地中化により居住環境が向上したことが直接的に貢献した。	-
	指標2	通過交通の集約化	台	354.0	H21	0.0	H26	-	127.0		あり なし	通過交通の集約化により、通過交通は減少したものの、完全に除外がされなかった。	-
	指標3	市民活動の促進	箇所	2.0	H21	4.0	H26	-	4.0		あり なし	地区内の公園箇所数が増加したことが、直接的に貢献した。	-
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地や道路内及び沿道の市有地等の公共施設を活用した緑化が推進され、緑豊かな都市環境の創出が図られた。 協議会により市民活動が促進され、地域内のコミュニティが向上した。 電線類の地中化により、歩きやすくなり、沿道の安全性、防災機能、景観が向上した。 												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		協議会による意見交換・意見収集等				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				沿道住民等の意見を聞き取る。(年1回程度)		
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2 - 2 地区の概要

新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
目標：人、自然、未来、いのちを大切に、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり 臨海部と内陸部の連絡強化を図る広域道路の整備を主軸とした交通環境の改善 緑化による緑豊かな都市環境の創出 市民活動の促進による市民主体のまちづくり	歩行空間に関する満足度	単位：%	31.0	H21	50.0	H26	69.0	H26
	通過交通の集約化	単位：台	354.0	H21	0.0	H26	127.0	H26
	市民活動の促進	単位：箇所	2.0	H21	4.0	H26	4.0	H26
		単位：		H		H		H
		単位：		H		H		H
<p> ○関連事業 稲毛区西部地区(都市公園事業) ○関連事業 稲毛区西部地区(都市公園事業) □提案事業 ◇提案事業(一括) ・(□、◇)新港横戸町線沿道関連整備 ○関連事業 合流式下水道緊急改善事業 ■基幹事業 ◆基幹事業(一括) ・(■、◆)道路事業(街路) 幕張町弁天町線 ・(■)道路事業(地方道) 黒砂台802号線 ・(■)地域生活基盤施設事業 新港横戸町線(ポケットパーク) ■基幹事業 ・道路事業(国道) 国道126号 ・地域生活基盤施設事業 新港横戸町線(ポケットパーク) □提案事業 ◇提案事業(一括) ・(□、◇)道づくり協議会等運営事業 ・(□、◇)新港横戸町線沿道関連整備 ・(□)事業効果検討 ○関連事業 新港横戸町線(街路事業) (地域高規格道路) ■基幹事業 ◆基幹事業(一括) ・公園事業 黒砂H緑地 ・公園事業 黒砂台二丁目公園 黒砂台M緑地 ・地域生活基盤施設事業 黒砂台運動広場 新港横戸町線(ポケットパーク) ■基幹事業 ◆基幹事業(一括) ・(■、◆)道路事業(街路) 新港横戸町線 ・(■)道路事業(地方道) 幸町801号線 ・(■)公園事業 幸町I緑地 ○関連事業 千葉港黒砂台線(街路事業) ■基幹事業 ◆基幹事業(一括) ・公園事業 (■、◆)黒砂台J緑地 (■)黒砂台K緑地 (■)黒砂台L緑地 (■)黒砂台N緑地 凡例 ■ 基幹事業 □ 提案事業 - - - 関連事業 </p>								
まちの課題の変化	・新港横戸町線の総合的環境対策については、道づくり協議会での協議をへて実施した遮音壁の設置、蓋かけや緑化の推進により沿道環境の改善が図られた。 ・蓋かけの上に整備された緑地では、周辺大学の学生が主催するイベント等により地域内のコミュニティが図られた。 ・新港横戸町線の総合環境対策として実施した「みどりの帯づくり」により、緑化の推進、景観の維持が図られた。 ・公園名称に歴史・風土に関する名称を残すことにより、歴史・風土の復元・保存が図られた。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・復元、保存された地域資源の維持・管理を行う。 ・通過交通の集約化については、沿道住民の意見を踏まえ通過交通の減少に向けた対策の検討を進める。							

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3 - モニタリングの実施状況
- 添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5 - まちの課題の変化
- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策
- 添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- ~~添付様式6 参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)~~

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

- ~~添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議~~

(7) 有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標					
B. 目標を定量化する指標					
C. 目標値					
D. その他()					

駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	黒砂台運動広場	18.0	-	49.2	-	事業費の見直し	影響なし		
地域生活基盤施設	新港横戸町線(ポケットパーク)	19.0	-	24.8	-	事業費の見直し	影響なし		
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ¹ (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	新港横戸町線沿道関連整備	56.0	A = 0.6 ha	94.8	A = 0.6 ha	事業費の見直し	影響なし		
事業活用調査	事業効果検討	2.0	-	2.1	-	事業費の見直し	影響なし		
まちづくり 活動推進事業	道づくり協議会等運営事業	47.0	-	41.4	-	事業費の見直し	影響なし		

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
街路事業		新港横戸町線	62,600	62,600	平成8年度～平成22年度	平成8年度～平成26年度		
街路事業		千葉港黒砂台線	571	571	平成16年度～平成22年度	平成16年度～平成26年度		
合流式下水道緊急改善事業		中央区、稲毛区、美浜区	3,650	3,650	平成20年度～平成24年度	平成20年度～平成24年度		
都市公園事業		稲毛区西部地区	3,937	3,937	平成11年度～平成25年度	平成11年度～平成25年度		

添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度 2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし				
指標1	歩行空間に関する満足度	%	地域住民を対象に実施したアンケート調査の結果(平成21年、平成26年)を用いて、整備効果に関する設問における5段階評価のうち上位2つの占める割合。	-	-	31.0	H21	50.0	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定 見込み	69.0	事後評価			
指標2	通過交通の集約化	台	道路事業を対象として、平成26年10月に実施した交通量調査の結果を基に通過交通を確認し、評価値とした。	-	-	354.0	H21	0.0	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定 見込み	127.0	事後評価			
指標3	市民活動の促進	箇所	平成27年3月末時点における市民参加による管理公園箇所数を確認し、評価値とした。	-	-	2.0	H21	4.0	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
										事後評価	確定 見込み	4.0	事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			

指標	目標達成度 × の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	アンケート調査の結果、5段階評価の設問のうち満足度の高い12設問が占める割合が全回答数の69%と目標を上回っており、目標は達成したと判断した。	
指標2	通過交通の集約化により、通過交通は減少し、効果はみられたものの、左折禁止等の通行規制を実施していない箇所については、通過交通を完全に除外することができなかった。	
指標3	市民参加による管理公園箇所数が4箇所に増加し、目標値を達成したと判断した。	
指標4		
指標5		

1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

2 目標達成度の記入方法

: 評価値が目標値を上回った場合

: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) ¹ 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価	確定	
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価	確定	
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価	確定	

¹ 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・道路内及び沿道の市有地や公園緑地等の公共施設を活用した緑化が推進され、緑豊かな都市環境の創出が図られた。
- ・協議会により市民活動が促進され、地域内のコミュニティが向上した。
- ・電線類の地中化により、歩きやすくなり、沿道の安全性、防災機能、景観が向上した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
協議会による意見交換・意見収集等	予定どおり実施した		[実施頻度] 10回 [実施時期] 平成22年度～平成26年度 [実施概要] 沿道地域の自治会代表、沿道事業所代表者、学識経験者などで構成され、沿道全体の道づくりの検討、実現案のとりまとめを実施	・沿道住民等の意見を聞き取る。 (年1回程度)
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			体制構築に向けた取組内容	まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市街地整備課、道路計画課、街路建設課	実施回数:1回 実施時期:平成27年2月23日開催	街路建設課(主管課)

添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標3					
指標名		歩行空間に関する満足度		市民活動の促進					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(新港横戸町線)		道路事業により道路や歩道整備、電線類が地中化されたことにより、地区内の居住環境が向上したことが直接的に貢献した。 また、まちづくり活動推進事業により事業の計画段階から地域住民の意見を収集、反映した事業を展開したことも貢献しているものと考えられる。	地域生活基盤施設事業により幸町!緑地が整備されたことで、地区内の管理公園箇所数が増加したことが直接的に貢献した。 また、公園事業等による緑化の推進や、まちづくり活動推進事業による植栽や防災面での管理など、事業の計画段階から地域住民の意見を収集、反映した事業展開をしたことも貢献しているものと考えられる。					
	道路(幕張町弁天町線)								
	道路(国道126号)								
	道路(幸町801号線)	-							
	道路(黒砂台802号線)	-							
	公園(幸町!緑地)	-							
	公園(黒砂台二丁目公園)	-							
	公園(黒砂H緑地)	-							
	公園(黒砂台J緑地)	-							
	公園(黒砂台K緑地)	-							
	公園(黒砂台L緑地)	-							
	公園(黒砂台M緑地)	-							
	公園(黒砂台N緑地)	-							
	地域生活基盤施設(黒砂台運動広場)	-							
地域生活基盤施設(新港横戸町線(ポケットパーク))	-								
地域創造支援事業(新港横戸町線沿道関連整備)									
提案事業	事業活用調査(事業効果検討)	-							
	まちづくり活動推進事業(道づくり協議会等運営事業)								
関連事業	街路事業								
	合流式下水道緊急改善事業	-							
	都市公園事業	-							

指標改善への貢献度

- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ・事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市街地整備課、道路計画課、街路建設課	実施回数:1回 実施時期:平成27年2月23日開催	街路建設課(主管課)

添付様式5 - まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
既成市街地内を通過する街路整備による沿道環境への影響(騒音, 大気, 振動等の悪化)	・新港横戸町線の総合的環境対策については、道づくり協議会での協議をへて実施した遮音壁の設置、蓋かけや緑化の推進により沿道環境の改善が図られた。	特になし	特になし
掘割構造である街路整備による地域分断(生活道路, コミュニティ等)	・地域分断対策としても実施した蓋かけにより、生活道路としての機能が維持された。 ・蓋かけの上に整備された緑地では、周辺大学の学生が主催するイベント等により地域内のコミュニティが図られた。	特になし	
街路整備により消失する地域資源(緑, 景観, 歴史, 風土等)の復元、保存	・新港横戸町線の総合環境対策として実施した「みどりの帯づくり」により、緑化の推進、景観の維持が図られた。 ・「歴史を保存する会」への支援や公園名称に歴史・風土に関する名称を残すことにより、歴史・風土の復元・保存が図られた。	特になし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- B欄に記入します。

添付様式5 - 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	市民活動の促進	沿道住民等の意見を聞き取る。(年1回程度)	連絡協議会の実施
	地域資源の維持・管理	復元、保存された地域資源の維持・管理を行う。	公園、緑地の維持管理

B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	通過交通の集約	沿道住民の意見を踏まえ通過交通の減少に向けた対策の検討を進める。	連絡協議会の実施

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

様式5 - の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4 -)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4 -)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5 -)を再確認した。

添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		数値目標を設定する際には、直接的な効果と間接的な効果を整理して指標を設定することが必要である。
	うまくいかなかった点	・数値目標を設定する際に、指標に対して間接的に効果発現する事業と直接的に効果発現する事業を考慮せず目標値を設定したため、目標値に達成することができなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・利便性や快適性の視点で補完的な指標を設定したことで事業評価を適正に行うことができた。	・補完的指標を設定し、事業の成果を評価することが重要である。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・道づくり協議会により、地元住民、地元事業所等の意見が反映された計画となった。	・住民参加の協議会は重要であるが、できる限り実施時も踏まえた協議を実施することが望ましい。
	うまくいかなかった点	・計画段階では反映された意見が、実施時には構造上の問題等により反映されたものと反映されなかったものが生じた。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6 - 参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

[今後の活用予定]

[今後、事後評価を予定する地区]

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページでの掲載	平成27年2月24日から 平成27年3月9日迄	平成27年2月24日から 平成27年3月9日迄	担当課への郵送、FAX、電子メール	街路建設課(主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	なし
-------	----

社会資本総合整備計画

新港横戸町線沿道地区都市再生整備計画

平成25年 2月26日

千葉県 千葉市

都市再生整備計画(第4回変更)

しんみなとよこどちようせんえんどう
新港横戸町線沿道地区

ちばけん ちばし
千葉県 千葉市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	千葉市	地区名	新港横戸町線沿道地区	面積	170.7 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

「人、自然、未来、いのち」を大切に、環境にやさしく地域の人々のふれあいと参加のあるみどりの道づくり
 臨海部と内陸部の連絡強化を図る広域道路の整備を主軸とした交通環境の改善
 緑化による緑豊かな都市環境の創出
 市民活動の促進による市民主体のまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

千葉市では、県内外の交流・連携を図り広域的な位置付けを確保できる道路網を「千葉市広域道路整備基本計画」において広域道路として位置付け、整備を進めている。現在、都市計画道路新港横戸町線は、広域道路として、特に千葉都心部への交通の分散と臨海部と内陸部の連絡強化を図ることを目的に、整備を推進している。この内、地域高規格道路指定区間は街路事業費補助を活用し、事業を実施しており、また、指定区間外である幸町工区についても、地域高規格道路の整備効果を高めるため、整備を推進している。これにより、新港横戸町線は平成22年度に一部供用開始をしている。

新港横戸町線沿道地区は海浜埋立地・谷地・台地を結ぶ区域からなり、海浜埋立地区では高層団地が建並び、谷地形地区では古くからの屋敷郡と宅地開発による住宅密集地が混在し、台地地区では住宅地と区役所、医療施設、学校等の公共施設が集約された文教地区となっている。新港横戸町線はこれら既成市街地内を通過する広域道路であるため、沿道への環境悪化が危惧されており、その解決策として、道路と沿道緑地が一体となった緑豊かな道「みどりの道」を整備することとしており、緑による効用としての都市のヒートアイランド現象緩和や延焼防止帯等の役割も担うものとしている。

また、地域住民の理解を得るため、沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働によるよりよい道づくりの実現を目指し、単なる道路整備ではない沿道区域を取り込んだ緑豊かな都市環境の創出と市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指している。

・新港横戸町線道づくり協議会：平成11年度より27回開催，学識経験者，沿道自治会・事業所代表者計21名で委員を構成

・新港横戸町線緑化検討会：平成11年度よりWS39回開催，緑化計画に興味のある沿道住民で構成 60名程度

なお、本地区は平成16年度から平成20年度までまちづくり交付金の採択を受けて事業を執行したため、本計画は2期計画となる。1期計画において、沿道住民との協働によるよりよい道づくりの実現を目指し、道路、公園等の整備を推進して着実に成果を上げたものの、整備の遅れにより一部事業が未完成となり、沿道環境への影響や地域分断等に対する課題の全てを解決するには至らなかった。さらには、1期計画の事後評価を実施した中で、事業の早い段階からPIを実施してきたことについて高く評価されたが、市民活動の促進を少しでも向上できるような工夫や取り組みを重点的に実施すべきという審議が下されている。よって、2期計画において、1期計画での結果や改善点を踏まえて事業を推進することにより、目標の達成を図る。

課題

・既成市街地内を通過する街路整備による沿道環境への影響（騒音、大気、振動等の悪化）

・掘割構造である街路整備による地域分断（生活道路、コミュニティ等）

・街路整備により消失する地域資源（緑、景観、歴史、風土等）の復元、保存

将来ビジョン(中長期)

千葉市新総合ビジョン(平成12年3月策定)、千葉市緑と水辺の基本計画(当初計画平成9年12月、見直し計画平成14年11月策定)、千葉市広域道路整備基本計画(当初計画平成5年策定、見直し計画平成10年6月策定)

首都圏の中核都市との広域道路ネットワークを形成するため、高規格幹線道路の整備を推進し、湾岸部の各種開発の支援、都心部の交通の整流化を図る。

積極的な公共施設の緑化を進めると共に、緑化の意識を高める普及・啓発事業により、市民、民間団体、企業、行政などが一体となった市街地緑化を推進し、緑あふれる都市空間の保全と創造を図る。

市民参加による公共施設の計画・管理等を進め、市民による公益活動を促進し、市民主体の都市づくりを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
歩行空間に関する満足度	%	歩行環境に対するアンケート調査による満足度	地域の人の利用に即した公共施設整備を目指す。	31	H 2 1	50	H 2 6
通過交通の集約化	台	生活道路における通過交通車両台数	通過交通の集約化により、生活道路に流入していた通過交通を除外し、交通環境及び居住環境を向上させる。	354	H 2 1	0	H 2 6
市民活動の促進	箇所	市民参加による管理公園箇所数	地域コミュニティの形成及び市民主体の都市づくりを推進する。	2	H 2 1	4	H 2 6

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>(交通環境の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新港横戸町線(幸町工区)、幕張町弁天町線、国道126号の整備により、地域高規格道路の整備効果を高め、臨海部と内陸部の連絡強化を図る。 街路整備に併せ生活道路の改善を行い、地区内交通の円滑化、安全性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新港横戸町線道路築造 関連生活道路整備 幕張町弁天町線道路整備 国道126号道路整備
<p>(緑化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道環境負荷低減のため、道路内の積極的な緑化や沿道に公園・緑地を整備することにより、緑豊かな都市環境を創出する。 地域に根ざした緑づくり、地域資源活用のため、街路事業により支障となる樹木の移植等を行なう。 沿道住民参加による緑化計画・設計等を行い、官民一体となった緑化の推進に努め、地域に愛される緑化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地、ポケットパーク整備 新港横戸町線道路築造 樹木移植 緑化検討会の運営
<p>(市民主体のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働による「よりよい道づくり」の実現を目指すと共に、地域の連帯や誇りを醸成し、市民活動の促進による市民主体のまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 道づくり協議会の運営 緑化検討会の運営
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民によるまちづくり活動 地区の歴史の保存 <ul style="list-style-type: none"> 旧海岸線から谷津筋の黒砂地区は、先祖伝来の地主が多く、斜面林や屋敷林、神社の森が残る緑豊かな地区であるが、近年、宅地造成等により住宅が密集し、その景観が失われつつあった。新港横戸町線の整備を契機として新旧住民による「黒砂の資料を保存する会」が発足し、市と協働で、次世代に継承する地域資産として、地区の歴史や景観を保存する資料作成や民具等を収集し、公民館への常設展示を行った。展示後も住民主体による活動を継続的に行っている。 緑化に関する取り組み <ul style="list-style-type: none"> 緑化に係わる基本方針を検討するワークショップでの集まりを機に、花壇づくりに興味のある住民が空地等を利用し、花壇づくりを行い管理運営し、新たなコミュニティ形成を築いている。また、公園の管理に参加するグループも立ち上がってきている。 小学校総合学習による取り組み <ul style="list-style-type: none"> 地区近隣小学校では、児童が地域活動に参加し、将来の地域をになう資質を育成することを目的に「まちづくり学習」を行っており、平成13年度から新港横戸町線を題材にした授業がスタートした。身近な地域でのまちづくりの様子を体験しながら、公園の計画づくりを行っている。 環境に対する取り組み <ul style="list-style-type: none"> 新港横戸町線の整備にあたっては環境予測等を行い環境負荷低減を考慮し事業実施を行っているが、整備後の大気質の状況を危惧する住民自ら一部の沿道地区について大気質の簡易測定を実施していた。これにより、他の地区からも沿道地区全体についての現況把握を行いたいという機運が高まり、市で沿道地区住民を対象とした大気についての勉強会等を開催し、測定方法等を住民と検討し、平成15年度に市と住民の協働による簡易測定を一週間実施した。今後も住民による継続的な現況測定意向があれば、住民主体で実施し、市は協力する姿勢を取るものとしている。 住民主体のまちづくりに関する取り組み <ul style="list-style-type: none"> 沿道住民参加による協議会や検討会を開催し、沿道住民との協働による「よりよい道づくり」の実現を目指して事業を進めてきたが、道路や公園等の整備完了が見え始めてきつつある。これにより、造ったものを今後地元でどのように活かしていくのか考えたいという意識が芽生え、住民が主体となったまちづくりとして何ができるのかという新たな観点での取り組みが始まってきている。 	

交付対象事業等一覧表



交付対象事業費	823.1	交付限度額	329.2	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	704.7	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	281.8		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	118.4	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	47.4		

(金額の単位は百万円)

基幹事業 社会資本整備総合交付金		事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	新港横戸町線	千葉市	直	L=0.5 km	平成8年度	平成25年度	平成22年度	平成25年度	1,801.1	187.2	187.2		187.2	
	幕張町弁天町線	千葉市	直	L=1.2 km	平成10年度	平成26年度	平成22年度	平成26年度	2,270.5	117.9	117.9		117.9	
	国道126号	千葉市	直	L=0.4 km	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	61.8	61.8	61.8		61.8	
	幸町801号線	千葉市	直	L=0.2 km	平成8年度	平成23年度	平成22年度	平成22年度	24.5	24.5	24.5		24.5	
	黒砂台802号線	千葉市	直	L=0.1 km	平成8年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	25.0	20.0	20.0		20.0	
公園	幸町緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	48.0	32.5	32.5		32.5	
	黒砂台二丁目公園	千葉市	直	A=0.2 ha	平成11年度	平成24年度	平成22年度	平成23年度	729.0	32.1	32.1		32.1	
	黒砂台H緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	553.0	13.6	13.6		13.6	
	黒砂台J緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	295.0	0.6	0.6		0.6	
	黒砂台K緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成24年度	平成23年度	平成23年度	50.0	6.6	6.6		6.6	
	黒砂台L緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成24年度	平成23年度	平成23年度	255.0	5.0	5.0		5.0	
	黒砂台M緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成25年度	平成23年度	平成23年度	72.0	5.0	5.0		5.0	
	黒砂台N緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	20.0	20.0	20.0		20.0	
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道	-			-										
駐車場有効利用システム	-			-										
地域生活基盤施設	黒砂台運動広場	千葉市	直	-	平成19年度	平成24年度	平成24年度	平成25年度	1,708.0	49.2	49.2		49.2	
	新港横戸町線(ネットパーク)	千葉市	直	-	平成11年度	平成24年度	平成24年度	平成25年度	70.0	24.8	24.8		24.8	
高質空間形成施設	-			-										
高次都市施設	-			-										
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									7982.9	600.8	600.8	0.0	600.8	...A'

基幹事業 地域自主戦略交付金		事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	新港横戸町線	千葉市	直	L=0.5 km	平成8年度	平成25年度	平成24年度	平成24年度	54.3	54.3	54.3		54.3	
	幕張町弁天町線	千葉市	直	L=1.2 km	平成10年度	平成26年度	平成24年度	平成24年度	16.5	16.5	16.5		16.5	
公園	黒砂台J緑地	千葉市	直	A=0.1 ha	平成11年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	13.2	13.2	13.2		13.2	
河川	-			-										
下水道	-			-										
合計									84.0	84.0	84.0	0.0	84.0	...A''

基幹事業 総計(+)									8066.9	684.8	684.8	0.0	684.8	...A=A'+A''
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	-------	-------	-----	-------	-------------

都市再生整備計画の区域

<p>新港横戸町線沿道地区(千葉県千葉市)</p>	<p>面積 170.7 ha</p>	<p>区域 幸町2丁目、新港、高洲1・2丁目、稲毛海岸1丁目、黒砂2・3・4丁目、黒砂台1・2・3丁目、小仲台1・2丁目、弥生町、穴川1・2・3・4丁目、穴川町、園王町、轟町1・2丁目の各一部</p>
---------------------------	--------------------	--

